

## 合成薬物の脅威に関するG7首脳声明（仮訳）

我々G7首脳は、我々の市民と世界の人々の健康、安全及び福祉に共に影響を及ぼしている違法な合成薬物の製造、流通及び販売、並びにそれら薬物を取引する犯罪ネットワークと闘うための我々の協働の取組を確認する。このような薬物、特にフェンタニル、その類似体及びニタゼンといった合成オピオイドは、エスカレートする重大な公衆衛生上の緊急事態を代表するものであり、何十万人もの死と地域社会や経済への壊滅的な影響をもたらしている。

この共有された挑戦に共に取り組むため、我々は、違法な合成薬物の製造と取引を妨げ、薬物を取引する者を支援する違法な資金ネットワークを解体し、新たな薬物の拡大を防ぐためにそれらの動向を特定し、公衆衛生上の影響に対応するべく、協働して国際的な行動を推進する用意がある。

特に、我々は以下の執行措置をとることにコミットする。i) 司法及び法執行面での行動を含むあらゆる利用可能な手段を用いて、薬物取引ネットワークとそれを支える違法な資金ネットワークを解体し、薬物を取引する者とその仲介業者の責任を追及する。ii) 合成薬物、及び違法な薬物の製造に用いられる前駆物質の違法なグローバル・サプライチェーンを妨げる。iii) 危険な薬物や前駆物質の国際的な統制を支援する。

我々は、以下の我々の取組を倍加する。i) 特に若者や、脆弱な又は疎外された状況にある人々の間で、薬物、特に違法に製造され流通される合成薬物の使用の悪影響に関し、意識と知識を高める。ii) 新たな薬物の脅威を特定し、迅速に対応するための情報を共有する。iii) 薬物の使用の予防及び治療サービスの質と利便性を向上させるため、根拠に基づく実践を推進する。iv) 効果的な法執行並びに保健関連及び予防のケアを支援するための十分な訓練を提供する。

我々は、薬物対策における国際協力を更に強化する我々の意図を確認する。この観点から、我々は、国連薬物・犯罪事務所（UNODC）、国際麻薬統制委員会、国連麻薬委員会（CND）、世界保健機関、及び合成薬物の脅威に対するグローバル連合の極めて重要な活動を歓迎する。我々は、国際的な薬物取引と闘うための国際的な警察及び司法協力を促進するユーロポールと欧州司法機構の長期的な活動を評価する。我々は、薬物取引及び組織犯罪と闘うための欧州港湾同盟のイニシアティブ、並びに新たな欧州連合薬物庁の設立を歓迎する。

有害かつ拡大しているこの脅威との闘いに関する我々の確固たるコミットメントを示すため、我々は関係閣僚に対し、この重大な課題に関する国際協力の強化に取り組み、公共意識を高め、薬物関連の予防及び治療サービスへの無差別かつ自発的なアクセスを促進し、執行の取組を調整するよう指示する。

我々は、違法に製造され流通される合成薬物による脅威を懸念する全ての国に対し、合成薬物の脅威に対するグローバル連合に加わり、その作業工程や勧告から生じる措置を実施することを促す。我々はまた、全ての国に対し、この致命的な災禍に対抗するため、違法な前駆物質の供給者、国際犯罪組織及びその支援者に対する司法及び法執行面での行動を含め、適切な行動をとるよう求める。